第３学年　算数科学習指導案

日　時：令和６年６月１４日（金）
　　第５校時　１４：００～１４：４５
場　所：
授業者：

１　単元名　　「わり算」

２　単元について

≪単元の目標≫
・除法の意味を理解し，場面を式に表して，九九を用いて答えを求めることができる。
・数量の関係や分け方に着目し，等分除，包含除の意味や答えの求め方を，具体物の操作や既習の乗法，減法や図をもとに考え，説明することができる。
・除法の意味や計算の仕方について，具体物の操作や乗法などから捉えようとする。また，身の回りから除法の場面を見出すなど，除法の計算を生活に生かそうとする。

本単元で扱う除法は初めて学習するため，丁寧に指導をする必要がある。そこで，除法の意味やどのような場面で用いられるかを理解し，答えを計算で求められるようにすることが重要である。また，操作を表す言葉や式を対応させながら理解させていくことも重要であり，必要に応じて具体物や図を用いるなどして，除法が用いられる場面や除法の計算の仕方を考えるとともに，日常生活において，ある物を何人かで数が等しくなるように分けたり，同じ数ずつ取り去ったり，同じ数ずつ袋に入れたりするなど，除法が活用できる場面を見出し，学習を生かす力も育成していきたい。

本時の学習では，包含除の場面について取り上げる。前時までに等分除の場面について学習をし，その意味や除法の式で表せること，乗法を用いて計算できることを理解している。包含除の場面でも同様に，具体的な操作などを通して，その意味などを理解できるようにしていく。

３　研究に関わって

＜関市小学校　算数部会　研究テーマ＞
見方・考え方を働かせ，数学的に考える児童を育てる指導のあり方
重点１　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的に考える児童を育てる数学的活動の明確化
重点２　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「個別最適な学び」や「協働的な学び」の在り方

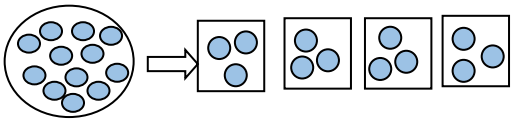
重点１について，本時は包含除の場面について取り上げる。前時の問題との比較をすることで，前時までの学習で取り扱った場面とは異なることをはっきりさせ，本時の課題の見通しがもてるようにする。

重点２について，「個別最適な学び」として，ヒントカードをロイロノート内に用意し，児童が自分で選択をして個人追究ができるように，指導の個別化を図るようにする。また，本時の最後に演習問題として，問題場面が等分除か包含除かを考え，理由を説明する活動を行う。自分の考えを撮影したり，ブロックで説明したりし学習の個性化を図る。ようにする。

4. 本時のねらい

包含除の場面をブロックや図を使ってその商を求める活動を通して，包含除の式や意味を考えることができる。【思考・判断・表現】

5. 本時の展開（ 3/ 7 時）

過程	学習活動	指導の留意点等
つかむ	**1.本時の課題を考える** 〇問題の場面をつかむ いちごが12こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。 ・わかることは「いちごが１２こ」と「３こずつ分ける」 ・求めたいことは、「何人に分けられるか」 ・分けた後の数を求めているから式は１２÷３になると思う。 ・実際に分けて考えてみたい。 課題:「１つ分け」とちがうところを見つけよう。	・第１時に取り扱った，等分除の場面の問題等を掲示する。 等分除の場面の問題 いちごが 12 こあります。３人で同じ数ずつ分けると，一人分は何こになりますか。 12 ÷ 3 ＝ 4 (全部の数) (何人分) (１人分の数) 重点① 数学的活動の明確化 同じように見える分けるでも，前時と場面が違うことを共通の認識とする。
／ 考える	**2．課題追究** 操作して考える  〇図などを使って説明を考える。 人数によって必要な数を考えると １人分・・・3×1＝3で３こ ２人分・・・3×2＝6で６こ ３人分・・・3×3＝9で９こ ４人分・・・3×4＝12で12こ だから４人に分けられます。 何回取り出せるかを考えると １人目・・・１2－3＝9 ２人目・・・9－3＝6 ３人目・・・6－3＝3 ４人目・・・3－3＝0 だから４人に分けられます。	重点② 個別最適な学び 前時までに考えた等分除の場面での答えの求め方，本時のブロック操作の動画などをヒントカードとして用意し，自分のやり方合わせて確認できるようにする。 ・ブロック操作や図，式を結び付け，どの考えにも「３つのまとまり」があることに気付かせる。
／ まとめる	**3．本時のまとめを考える。** まとめ:「トランプ配り」は1枚ずつ分けたけれど,「まとまり分け」は1人分をつくって分ける。 〇本時の問題もわり算の式で表せることを確認する。 ・「12このいちごを１人に３こずつ分けると，４人に分けられます」という話は「12÷３＝４」と表すことができます。 ・１人分を求めるときと分け方は違ったけれど，わり算の式は同じになる。	評価規準【思考・判断・表現】 包含除の場面も除法の式で表せることを理解し，その意味を考えている。
／ 深める	**4．演習問題に取り組む** 〇次の問題は，今日の問題と同じ分け方ですか。 18まいのおり紙を１人に６まいずつ分けると，何人に分けられますか。 ・問題の数は違うけれど，分ける時に６まいのまとまりを作るから，今日の問題と同じ。	・本時の問題と同じかどうかを，図や式，ブロックなどを使って考える。 重点② 個別最適な学び 自分の考えを撮影し，提出箱へその説明を提出させ，他の児童の考えが見られるようにする。